

## 問題 A

問 1. 脳卒中治療ガイドライン2015でグレードAに当てはまるものを選びなさい。

1. 脳卒中患者においては、嚥下障害が多く認められる。それに対し、嚥下機能のスクリーニング検査、さらには嚥下造影検査、内視鏡検査などを適切に行い、その結果をもとに栄養摂取経路(経管・経口)や食形態を検討し、多職種で連携して包括的な介入を行うことが強く勧められる。
2. 経口摂取が困難と判断された患者においては、急性期から(発症7日以内)経管栄養を開始したほうが、末梢点滴のみ継続するよりも死亡率が少ない傾向があり勧められる。
3. 発症 1か月後以降も経口摂取困難な状況が継続しているときには胃瘻での栄養管理が勧められる。
4. 頸部前屈や回旋、咽頭冷却刺激、メンデルソン手技、supraglottic swallow(息こらえ嚥下)、頸部前屈体操、バルーン拡張法などの間接訓練は、検査所見や食事摂取量の改善などが認められ、それぞれの症例にあわせて包括的な介入として実施することが勧められる。
5. 構音障害によるコミュニケーション障害を改善する目的の訓練は、行うことが勧められる。

問 2. 肺炎に関する記述のうち、誤っているものを選びなさい。

1. 日本人の死因の第3位は脳血管障害に変わって肺炎になった。
2. 脳卒中に肺炎を合併しても、死亡リスクそのものは変わらない。
3. 高齢者では脳卒中後に不顕性誤嚥とそれに伴う肺炎を起こしやすい。
4. 高齢者の肺炎は年代の増加に伴って、誤嚥性肺炎の割合が増加する。
5. 肺炎での入院患者数は高齢者が大半である。

問 3. 唾液に関して誤りを選びなさい。

1. 唾液腺は大唾液腺(顎下腺・耳下腺・舌下腺)と小唾液腺(口唇腺・口蓋腺)からなる。
2. 1日およそ1.0~1.5リットル分泌される。
3. 水分が99.5%以上である。
4. 分泌量は舌下腺が最も多い。
5. 消化作用がある。

問 4. 国際生活機能分類(I C F)に関する次の記述のうち、正しいものを選びなさい。

1. 対象は、障害のある人に限られる。
2. 障害を、社会環境から切り離して捉えている。
3. 健康状況とは、課題や行為の個人による遂行のことである。
4. 障害を機能障害、能力障害、社会的不利に分類したものである。
5. 世界保健機関 (WHO)により採択され、国際的に用いられている。

## 問題 A

- 問 5. 「関連する情報の分析・統合を通じて、利用者の課題、ニーズ、強みを明らかにすること」を表す用語として、適切なものを選びなさい。
1. チームアプローチ(teamapproach)
  2. アセスメント(assessment)
  3. モニタリング(monitring)
  4. アウトリーチ(outreach)
  5. インテーク(intake)
- 問 6. 自力で動けない患者の肺炎予防に適切なものを選びなさい。
1. 毎食後のはみがき
  2. 毎食後のタッピング
  3. 抗菌薬の予防投与
  4. 経管栄養
- 問 7 大脳の味覚中枢は以下のどこか？
1. 海馬
  2. 後頭葉
  3. 小脳歯状核
  4. 島皮質
  5. 黒質
- 問 8 下記の薬剤(カッコ内は商品名)の中で、現在我が国の医療保険でアルツハイマー型認知症に正式には適応がない薬剤はどれか選びなさい。
1. リバスタチグミン(商品名イクセロン・パッチ)
  2. メマンチン(商品名メモリー)
  3. ドネペジル(商品名アリセプト)
  4. クエチアピン(セロクエル)
  5. ガランタミン(商品名レミニール)
- 問 9. 誤っている組み合わせを選びなさい。
1. アルブミン----栄養
  2. ALT(GPT)----肝機能
  3. クレアチニン----腎機能
  4. クレアチニンキナーゼ----糖尿病
  5. 尿酸----痛風

## 問題 A

問 10. 誤っている組み合わせを選びなさい。

1. アルツハイマー病----認知症
2. 脊髄小脳変性症----失調
3. デュシェンヌ型筋ジストロフィー----近位筋萎縮
4. ギラン・バレー症候群----呼吸障害
5. 筋萎縮性側索硬化症----同名性半盲

問 11. 誤っているものを選びなさい。

1. 加齢に伴い喉頭は下垂する。
2. 嚥下反射の中樞は延髄にある。
3. 輪状咽頭筋は嚥下時に弛緩する。
4. 吸啜反射は3ヶ月頃から減弱する。
5. 嚥下機能は1歳頃までに完成する。

問 12. 脳卒中片麻痺患者のADLで誤っているものを選びなさい。

1. 車いす駆動は非麻痺側上下肢で行う。
2. シャツの更衣では麻痺側上肢の袖から通す。
3. 起き上がりの動作では非麻痺側を下にして寝返る。
4. ベッドから車いすへの移乗では麻痺側寄りに車いすをつける。
5. 段差を上る際には非麻痺側下肢から上げる。

問 13. 肺炎の原因となるのはどれか選びなさい。

1. 胃内細菌数減少
2. 口腔内細菌数減少
3. 心房細動
4. 不顕性誤嚥
5. 鉄欠乏性貧血

問 14. 体温を調節しているのはどれか選びなさい。

1. 橋
2. 小脳
3. 中脳
4. 視床下部

問 15. 蛋白質で正しいのはどれか選びなさい。

1. アミノ酸で構成される
2. 唾液により分解される
3. 摂取するとそのままの形で体内に吸収される
4. 生体を構成する成分で最も多くの重量を占める

## 問題 A

問 16. 健常な成人の体重における水分の割合に最も近いのはどれか選りなさい。

1. 20%
2. 40%
3. 60%
4. 80%

問 17. 体温の調節機構で正しいのはどれか選りなさい。

1. 体温の調節中枢は脳幹にある。
2. 体温が上昇すると、骨格筋は収縮する。
3. 体温が上昇すると、汗腺は活性化される。
4. 体温が低下すると、皮膚の血流は増加する。

問 18. 低栄養状態はどれか選りなさい。

1. BMI23.0, アルブミン3.8g/dL
2. BMI21.5.0, アルブミン3.6g/dL
3. BMI18.0, アルブミン2.8g/dL
4. BMI16.5, アルブミン3.5g/dL

問 19. 成人の1日の平均尿量はどれか選りなさい。

1. 100mL以下
2. 200mL～400mL
3. 1,000mL～1,500mL
4. 3,000mL以上

問 20. 高齢者の栄養摂取の実態で正しいのはどれか選りなさい。

1. 蛋白質の摂取量は年齢とともに増加する。
2. 総エネルギー摂取量は成人と変わらない。
3. 糖質に偏った摂取傾向にある。
4. 脂質の摂取量は成人よりも増加する。